

# 地域おこし協力隊の活動日記

飛騨市内で活動している地域おこし協力隊員

市内に存在するさまざまな地域資源を活用し、地域の特徴を活かした産業の創出を図ります



地域の資源を活用したものづくり

隊員 森口 明子

## 飛騨市の皆様、こんにちは！

飛騨市地域おこし協力隊の森口明子（もりぐちあきこ）です。東京から移り住み、早一年半が経ちます。飛騨市の山や空気、水、そして何よりひとが大好きです。

これから飛騨市の皆さんともっと親しくなって自然を楽しむ遊び方や、衣食住、手づくりで暮らす生活を実践したいと思っています。

さて、私の協力隊としての仕事は「株式会社飛騨の森でクマは踊る」が運営する「FabCafe Hida」を中心に、国内外を問わず世界中の人と飛騨市の皆さんをつなぐことです。

今回はイスラエルのデザイナーであるオリとマヤの滞在記をご紹介します。

オリとマヤは世界中を訪問し創作活動を行っており、デジタルテクノロジーと訪問先の国々の文化との融合をテーマに様々な作品を生み出しています。そして今年には森の豊かな飛騨市にやってきました。

イスラエルは砂漠地帯で森は国土のわずか7割ほどだそうです。彼らは飛騨市の面積の9割を占める森という宝物を活用し、伝統技術である組み木を取り入れることで、地域に何か還元できる活動をしたいという思いで今回創作活動を行いました。その一つは名付けて「床の間プロジェクト」。これは、日本家屋に必ずある床の間というスペースを異邦人の視点で活用すること。非常に面白い視点なのですが長くなるので詳しくは「FabCafe Hida」のブログ（<http://fabcafe.com/hida/blog/strangerinroom>）をご覧ください。



▲オリさんが制作した床の間家具

もう一つは、地域文化・資産とデジタルを融合させたものづくり。彼らには2歳になる子シフィーがいますが、水が大好きなシフィーが古川町の瀬戸川に魅了されている様子を見てこう思いました。「この街には美しい川が多く、それを住民は大切にしている。その美しい川の魅力を再認識すると共に、外へ発信できる機会を作れないか」と。さらに、「FabCafe Hida」に多くの子供達が訪れるのを見て、「子供達が飛騨市の宝物である木に触れ、何かを作る機会をつくりたい」と考えました。そして8月4日「瀬戸川キッズポートレース」が実現しました。

参加してくれたのは6組の親子。子供達にはまず「FabCafe」のレーザーカッターで加工した木のポートキットが渡されます。次にパーツに好きな色を塗り、紙で作った帆に好きなイラストを描き、最後に組み合わせて船にしました。塗料が乾いたらいざ瀬戸川へ！

レースがスタートするとみんな自分のポートを追いかけます！色とりどりのポートが瀬戸川を流れ、やがてゴールイン！自分のポートを拾い上げ、みな大変満足げでした。

この小さなイベントを通じて、地域の資源や環境を活用して、飛騨で脈々と受け継がれるものづくりの楽しさを子供達に教えるということは、飛騨市の未来のものづくり、街づくり、環境づくりにつながっていくことを再認識しました。これからもどんどん異邦人と飛騨市の皆さんとを結びつけ、いろいろな「気づき」が生まれる場と機会を作り出していけたらと思っています。



▲ワークショップと瀬戸川ポートレース

# まめなかな

## 乳幼児突然死症候群を 防ぎましょう!!

～11月はSIDS対策強化月間です～

乳幼児突然死症候群（SIDS）をご存知でしょうか。健康だと思われていた乳児が睡眠中に予期せず突然亡くなり、原因が不明の病態です。日本での発症頻度はおよそ6千～7千人に1人と推定され、生後2カ月～6カ月頃に多いとされています。

原因が不明の突然死と聞くと、小さなお子さんのある家庭では不安に感じられることと思います。多くの研究が続けられている中、まだ明らかかな原因は確定されていませんが、育児習慣を見直すことで発症は大幅に抑えられると言われています。次のような習慣に気をつけてみてください。



- ① つつぶせ寝は避ける  
うつぶせ寝の時の方が、あお向け寝の時より発症率が高いと報告されています。
- ② たばこはやめる  
たばこは、SIDS発生の大きな危険因子です。  
両親が喫煙する場合、喫煙しない場合の4・7倍発症率が高いとの報告もあります。ご両親はもろろん、周りの家族や友達も、赤ちゃんの近くでは喫煙しないように配慮しましょう。  
また、妊娠中の喫煙は赤ちゃんの体重を増やしくくし、呼吸中枢にもよくない影響を及ぼします。
- ③ できるだけ母乳で育てましょう  
母乳で育てられている赤ちゃんは、ミルクで育てられている赤ちゃんより発症率が低いと言われています。しかし、ミルク育児がSIDSを引き起こすわけではありません。  
必要があつてミルクで育てる場合はむやみに神経質になりすぎず、できる範囲で母乳を飲ませてあげましょう。

味覚の秋、飛騨では色々なものが採れますね。  
その一つがクリ。山沿いの道を車で走っていると、クリの実が道端に落ちていているのを見かけます。早速クリご飯を作りましたが、小学生も美味しいとおかわりまでして食べていました。

季節の素材を使った料理は本当に美味しいですね。

さて、栗を食べるときに出た渋皮はどうしますか？多くの人は「ゴミ」として捨ててしまいますよね。実は渋皮はアレルギーやアトピーを軽減させる優れたものなのです。でも、そのままでは渋くて食べられません。美味しくするには、乾燥させて、少し焦げ目が付くくらい煎ってお湯を注いでしばらく置き、お茶代わりにするといいですよ。また、煎じた液をお風呂に入れたら同様の効果があります。

昔からクリの葉はウルシかぶれに効くといわれてきました。そういった皮膚に対する効果がアレルギーやアトピーなどにもいいので

みんなで活かして  
楽しい毎日!

## 飛騨の薬草を学ぶ 教養講座

クリ



（村上光太郎「薬草を食べる」より）

しょう。ちなみにアトピーなどにもいいという効果がわかったのは実は最近なのです。

重いアトピーの子供が、偶然クリの渋皮が入ってしまった風呂に浸かったところ、かゆみが軽減されたことから、渋皮と一緒に風呂を沸かして入ってみたところ、あれほどかゆかったのがさうでなくなつたそうです。

クリは昔から食用に、薬用にと使われてきたので、家の庭や畑など身近なところに植えられてきたのでしょうか。

煎じた液を外用するとウルシかぶれをはじめ、接触性皮膚炎や湿疹などに、内服すると腎臓病、クリの実も入れたものなら精力減退にも効果があります。

季節のものを食べると元気になるといいますよね。それに効能があるものなら積極的に食べ、来る冬に備えて今からミネラルを体に蓄えましょう。



飛騨市ホームページでもお知らせしています  
飛騨市ホームページ http://www.city.hida.gifu.jp/  
携帯サイト http://www.city.hida.gifu.jp/mobile/



9月30日現在(敬称略)

ご結婚

お名前 釜部 圭太  
住居 古川町杉崎  
蒲生由紀子 古川町沼町

福井 康司 岐阜市  
葡萄酒 莉菜 神岡町殿(殿下)

中齋 欣也 神岡町江馬(江馬5)  
高橋 志津 愛知県

お誕生

お名前 田中 大葵  
住居 谷  
保護者 宏樹・沙奈代

田口 葵生 沼町 裕平・麻美  
大田 湊介 上町 溪太郎・亜子

和仁 花楓 高野 優樹・夕華  
沖村 楓 袈裟丸 一裕・美里

〔河合町〕 板屋 心韻 角川 慎吾・絢花  
池田 昊生 稲越 倫也・明美

〔神岡町〕 山下 歩真 緑ヶ丘(緑ヶ丘2) 克彦・志保  
米澤 杏樹 東雲(西野町4) 健二・舞

お悔み

お名前 玉腰 久  
住居 壱之町  
年齢 77

〔古川町〕 大下 道子 上気多  
芝山 治雄 貴船町 壱之町

三嶋 清子 本町 幸栄町  
若田 昭平 幸栄町

高尾 くに 幸栄町

片町貴美榮 増島町 74  
廣田 實 黒内 88  
倉家 清 太江 68

〔河合町〕 政木 由夫 稲越 92

〔神岡町〕 前田 ぬひ 野首 91  
廣田テル子 東雲(西野町2) 95  
高田 房子 小萱(上小萱) 88

岡田 正男 麻生野(下麻生野) 91  
吉澤 良一 寺林(寺林5) 79  
稲田 みさ 船津(上今2) 89

見座 静江 吉田(吉田中) 90  
井上 春雄 船津(花園1) 88  
稲田 眞一 船津(上今3) 74

小瀬 利雄 東町(末広1) 87  
池田 正一 東茂住(東茂住2) 70  
稲葉 昌久 館野町(弥生1) 62

ご寄付

次の方々から温かいご寄付をいただきました。

〔一般寄附金〕 玉腰 久 様(古川町) 金 五万円

〔老人保健施設たかはらへ〕 大田 嵩夫 様(神岡町) 車椅子 1台  
歩行器 1台

〔ふるさと応援寄付金〕(8月1日~8月31日) 植松 光一 様(愛知県) 金 一万円

清水 宏志 様(広島県) 金 十万円

金丸 洋 様(埼玉県) 金 五万円

田中 敏雄 様(大阪府) 金 二万円

木村 聡 様(神奈川県) 金 三万円

佐久間 勉 様(千葉県) 金 二万円  
加藤 博 様(静岡県) 金 三万円  
谷倉 道隆 様(千葉県) 金 一万円  
濫澤 基治 様(千葉県) 金 一万円  
堺 紀雄 様(千葉県) 金 十万円

岡田 善胤 様(東京都) 金 十万円  
谷口 鉄朗 様(埼玉県) 金 二万円  
手嶋 学 様(愛知県) 金 三万円  
丹羽 正和 様(岐阜県) 金 一万円  
小林 昌志 様(東京都) 金 一万円  
福井 正広 様(岐阜県) 金 二万円  
上杉 秋則 様(東京都) 金 十万円  
井ノ上由貴男 様(愛知県) 金 十万円  
五十嵐 章 様(静岡県) 金 十万円

平成二十八年熊本地震災害義援金

(9月1日~9月30日) ※受付順

向林利明ファンクラブ 匠 様(古川町) 金 二十二万七千二百四十五円



交通安全俳句

夕焼けが 気をつけてねと 赤信号

吉城高校2年 水上 陽愛さん

【解釈】

夕焼けの赤と赤信号の赤をかけて交通安全を訴えています。夕焼けの広がり、家族があなたの無事を願う思いの深さでしょうか。

飛騨警察署交通課長



～飛騨から世界を望み、地域社会の持続可能な発展に貢献する～

# 岐阜県立吉城高等学校

お問い合わせ  
岐阜県立吉城高等学校  
Tel.0577-73-4555

## 9月6・7日に柏葉祭(学校祭)が行われました!!



クラスはステージ部門、展示部門に分かれての発表です。夏休み前から計画的に準備しました。地元の行事をテーマにした発表もあり、どのクラスも創意工夫が見られました。



文化系部活動が日頃の練習の成果を発表しました。芸術授業(音楽、美術、書道)の発表がありました。



和光園の方を招待しました。学校内を見ていただき、抹茶を召し上がっていただきました。また、今年度初めて飛騨吉城特別支援学校高等部も参加し、作業製品の販売をしました。6日は、育友会にバザーを行っていただき、カレーライス、唐揚げ、かき氷などを作っていました。



古川町商工会青年部に飛騨の匠の紹介をしていただきました。釘、金具は使わない巨大シーソーを作っていました。また、鉦(かんな)掛けや壺作りも体験させていただきました。

## 全国高等学校総合文化祭に参加しました。



写真部と地学部が7月30日から8月3日まで広島県で行われた全国高等学校総合文化祭に参加しました。全国の高校生と交流し、貴重な体験をすることができました。

## ひ 重機など41台がずらり だのはたらく車展が開催

9月11日（日） 古川中学校

飛騨古川青年会議所は、工事現場車両や重機、緊急車両を展示し、子ども達に乗車体験などをしてもらう「ひだのはたらく車展」を古川中学校グラウンドで開きました。

これは、働く車を見学したり、触れることで、地域への愛着や働く人たちに対して関心をもってもらおうと企画され、今年で3回目。

会場には、パワーショベルなどの重機のほか、大型トラック、警察・消防・自衛隊の車両など41台がずらりと並び、訪れた多くの親子らでにぎわいました。子ども達は、運転席に座ったり、ハンドルを握ったりと、楽しみました。



重機がずらりと並び、にぎわう会場

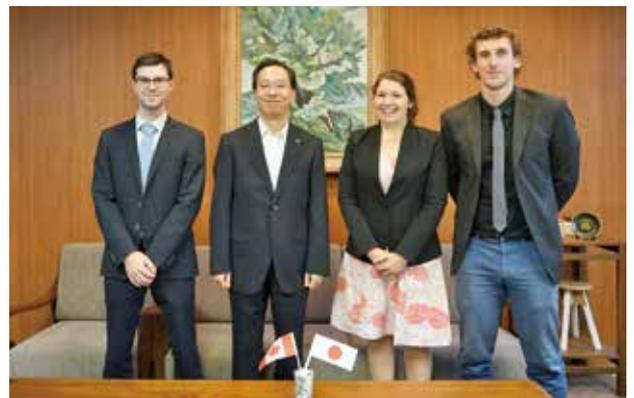
## は カナダからのALTが着任報告 はじめましてALTです

9月2日（金） 市長室

二学期から市内の小中学校に勤務する3人の新しいALT（外国語指導助手）の先生が、市役所を訪れ、都竹市長に着任のあいさつをしました。

カナダのバンクーバー市から、シノダ・シャノンさんとドレーニー・コルビーさん、そして、カナダのモントリオール市から、カマーフォード・トーマスさんが着任。

市長との懇談では、「子どもたちが世界に興味を持てるようにしたい」、「子どもたちの英語の力をもっと伸ばしたい」など、ALTとしての今後の抱負を語りました。都竹市長は「歴史や文化が素晴らしい飛騨市で楽しんでください」と歓迎しました。



着任の報告に訪れたALT

## 世 第1回実行委員会が開催 世界遺産登録記念事業へ第一歩

9月14日（水） 総合会館

古川祭が全国33件の「山・鉾・屋台行事」の1つとして、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産候補となっています。それを契機にしようと古川祭の関係者による記念事業実行委員会が発足しました。

第1回となった今回は41人が出席し、ちょうちん行列などの決定記念イベントの開催や記念グッズの製作などの事業計画を承認しました。

世界遺産登録は11月28日からエチオピアで開催される政府間委員会で正式に決定される見込みです。



文化遺産登録記念事業に向けて協議する委員

## だ 全国から1,539人が参加 いこんマラソン今年も開催

9月11日（日） 神岡町山之村

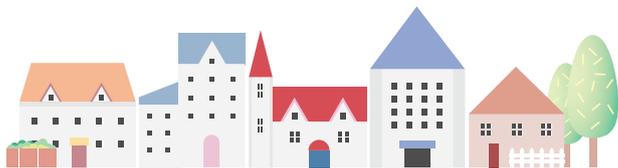
標高約1,000mの山之村高原を駆ける「第18回山の村だ いこんマラソン大会」が開かれ、ススキの穂が揺れる秋の高原を駆け抜けました。

参加者全員に大会名にちなんだ地元特産のダイコンとホウレンソウが贈られるユニークな大会は今年で18回目を迎え、全国から過去最高となる1,539人のランナーが参加しました。

大会は、天空の牧場山之村を発着点に、3キロ、5キロ、10キロ、ハーフの4コースで競われ、参加者はそれぞれ記録に挑戦したり、家族で風景や自然を満喫しながら走り、さわやかな汗を流していました。



コースを駆け抜ける参加者



## ち 思い思いの作品にろうそくをともす いさな村の里山キャンドルナイト開催

9月18日(日) 山之村キャンプ場

キャンドルの美しさ・工夫がしてあるかを競う「ちいさな村の里山キャンドルナイト」が初めて開かれ、山之村小中学校など5チームが参加しました。

参加チームは、与えられた300個のろうそくを花など思い思いの形に配置し一斉に灯すと、参加者からは大きな歓声が上がりました。また、山之村の特産品を使ったバザーや地元バンドらによるライブも行われ、会場を盛り上げました。

参加者は「作品はどれもキレイで、会場の雰囲気も良く、素敵な思い出になりました」と話していました。



キャンドルの作品を撮影する参加者

## ぼ 地域に夢とにぎわいを ぼんぼりが淡く町を彩る

9月17日(土) 古川町式之町

1,000灯あまりの「夢ぼんぼり」でライトアップする「ぼんぼりゆめ街道」が古川町式之町通りで開催され、会場となった約600mの道路は幻想的な雰囲気に包まれました。

このイベントは、式番町ゆめ倶楽部と吉城高校ぼんぼり会が町おこしにつなげようと毎年企画し、今年で11回目を迎えます。

会場には、古川祭の各屋台組を象徴する台紋入りのぼんぼりや、町内の保育園児が将来の夢やイラストなどを描いたぼんぼりが並び、来場者を楽しませました。



ぼんぼりが並んだ式之町通り

## 五 秋の風物詩きつね火まつり 穀豊穰・商売繁盛

9月24日(土) 古川町市街地

民話「キツネの嫁入り」を再現した古川町の秋の夜の風物詩「飛騨古川きつね火まつり」が同町のまつり広場をメイン会場に行われました。

たいまつを手にした浮き上りの幻想的な雰囲気が市街地一帯を包み込み、県内外から訪れた約25,000人の観客を魅了しました。

夜には、きつねに扮した花婿と花嫁を乗せた花車など約80人の若者が、瀬戸川など市街地を練り歩きました。

メイン会場では、大勢の観客に見守られ「婚礼の儀」や和傘による可憐な「花の舞」、「蛇闘楽」が行われ、おとぎ話の世界が蘇りました。



瀬戸川沿いを練り歩きたつねの嫁入り行列

## 森 200点の作品と芸術に触れる 森羅万象展が多くの来場者でにぎわう

9月17日(土) FabCafe Hida

ひねもすこそだての会は、全国で個展を開催する江崎満さんの版画・陶芸展覧会「森羅万象展」を古川町の FabCafe Hida で開きました。

この企画展は、子育て中の親が集う同会が、子連れで親でも気軽に芸術に触れてもらおうと企画。

展覧会では版画・陶芸作家の江崎満さんの作品約200点が展示されました。江崎さんは約30年前から石川県輪島で生活し、版画や陶芸などの創作活動を続けており、会場には、鳥や植物、海など輪島の生命をテーマにした躍動感あふれる作品がならび、訪れた来場者は色彩を楽しみながら芸術に触れていました。



来場者に作品の説明を行う江崎さん



Aコース(1万円~2万円未満)  
飛驒の中華そばセット(焼豚・メンマ付)



発売以来ロングセラー商品の「飛驒中華そば」



オリジナル商品のラインナップも豊富です



第6回  
(有)麺の清水屋

☎0578-82-0145



代表取締役  
清水 富康さん

このコーナーでは「ふるさと納税(ふるさと応援寄付金)」のお礼の品や店舗を紹介します。就職、通学、結婚等で飛驒市外に在住の方がいらっしやいましたら、ぜひご紹介ください。

※飛驒市をPRする観点から特産品のお返しは市外に住民票のある方に限らせていただきます

※詳しくはホームページをご確認ください

<http://www.city.hida.gifu.jp/>



昭和23年の創業以来、親子4代にわたり、麵一筋で取り組んでいます。タンパク量が多く風味豊かな小麦粉と、セラミック処理など独自の工夫を加え活性化した奥飛驒の美味しい水で、こだわり抜いて麵を作っています。その素材を生かすために、添加物を極力使用せず、安全・安心にも力を入れています。麵作りは勉強と挑戦の毎日です。より高品質で美味しい麵を目指して、素材を研究したり、製造方法を考えたりと、飽きることがありません。お客様の美味しいという一言と笑顔のために、今後にもさらに良い麵作りを進めていきます。

人口の動き (10月1日現在 住民登録人口)

男	女	計	世帯数
12,131	13,069	25,200	8,894
出生	10	転入	34
死亡	28	転出	40

消防の状況 (9月30日現在)

	火災	救急
飛驒市	5	804
その他(管外出勤)	0	7
前月比	0	69

交通事故の状況 (9月30日現在)

	人身交通事故		物損交通事故
	件数	死者 傷者	
累計	19	0 30	358
昨年	16	1 23	415
増減	3	-1 7	-57

飛驒警察署管内 (平成28年1月1日からの累計)  
※人身事故件数、負傷者数、物損事故件数は速報値



●発行/平成28年10月18日 飛驒市役所 ●編集/企画部 企画課 ●印刷/有限会社村坂印刷

〒509-4292 岐阜県飛驒市古川町本町2番22号

☎(0577) 73-2111

🌐 <http://www.city.hida.gifu.jp/>